

注3

大学番号：私065

[平成29年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

芝浦工業大学 建築学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人芝浦工業大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 豊洲学事部大学企画課

職名・氏名 シチョウ 次長 シライシ 白石 ミチコ 美知子

電話番号 03-5859-7200

（夜間）

F A X 03-5859-7201

e-mail kikaku@ow.shibaura-it.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

建築学部

＜建築学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	32
4. 既設大学等の状況	33
5. 教員組織の状況	35
6. 附帯事項等に対する履行状況等	55
7. その他全般的事項	56

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 芝浦工業大学

(2) 大学名

芝浦工業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒135-8548
東京都江東区豊洲3丁目7番5号
(〒108-8548
東京都港区芝浦3丁目9番14号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イガラシ ヒサヤ) 五十嵐 久也 (平成22年6月)		
学長	(ムラカミ マサト) 村上 雅人 (平成24年4月)		
学部長	(ホリコシ ヒデツグ) 堀越 英嗣 (平成29年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
建築学部 建築学科 学士(建築学)	工学関係	4年	240人	-年次 -人	960人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	240人 [-]	-人 [-]	240人 [-]	-人 [-]	240人 [-]	-人 [-]	1.06倍	-倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	8052 [30]	- [-]	7407 [36]	- [-]	7697 [9]	- [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	7833 [30]	- [-]	7213 [36]	- [-]	7452 [9]	- [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	1120 [15]	- [-]	1018 [8]	- [-]	1182 [6]	- [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	270 [14]	- [-]	247 [4]	- [-]	251 [1]	- [-]			
入学定員超過率 B/A					1.12		1.02		1.04				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ ()内には、編入生の状況について外数で記入してください。なお、編入生を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	270 [14] (-)	- [-] (-)	248 [4] (1)	- [-] (-)	251 [1] (-)		
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	263 [11] (-)	- [-] (-)	254 [7] (7)		
3年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	254 [8] (-)		
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	270 [14] (-)	- [-] (-)	511 [15] (1)	- [-] (-)	759 [16] (7)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	270 人	5 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	5 人	1 人	就職(3人)、学生個人の心身に関する事情(2人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、経済的困窮(1人)、本人死亡(1人)
平成30年度	511 人	2 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	人	学生個人の心身に関する事情(1人)
			平成30年度	1 人	人	他の教育機関への入学・転学(1人)
令和元年度	759 人	2 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			平成30年度	1 人	人	学生個人の心身に関する事情(1人)、就職(1人)
			令和元年度	人	人	
合計		9 人		9 人	1 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{270} = \boxed{1.85} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{511} = \boxed{0.39} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{759} = \boxed{0.26} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<建築学部 建築学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	建築デザイン基礎1	1前	2			3						兼5
	建築デザイン入門	1前		2		1						兼1
	居住空間史	1前		2		2						
	力学の基礎	1前		2		4	1					
	デザイン史	1後		2								兼1
	建築デザイン基礎2	1後	2			2						兼7
	建築の形態と空間	1後		2		1						兼1
	建築環境工学1	1後	2			2						
	構造力学・演習	1後	3			2						
	空間建築デザイン演習1	1後		2		2						
	都市建築デザイン演習1	1後		2				1				兼1
	建築ものづくり	1後		2			1					
	建築スタジオ演習1	1後		2		1						兼2
	住生活論	2前		2								兼1
	CAD・CG演習	2前		2		1						兼3
	都市地域計画	2前		2		2	1					
	建築環境工学2	2前		2		1						兼1
	材料力学・演習	2前		3		1						兼2

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	建築デザイン基礎1	1前	2			3						兼6
	建築デザイン入門	1前		2		22	1	1				
	居住空間史	1前		2		2						
	力学の基礎	1前		2		5	1					
	デザイン史	1後		2								兼1
	建築デザイン基礎2	1後	2			2						兼8
	建築の形態と空間	1後		2		2						
	建築環境工学1	1後	2			2						
	構造力学・演習	1後	3			2						兼1
	空間建築デザイン演習1	1後		2		3						兼1
	都市建築デザイン演習1	1後		2				1				兼2
	建築ものづくり	1後		2		1						
	建築スタジオ演習1	1後		2		1						兼2
	住生活論	2前		2								兼1
	CAD・CG演習	2前		2		1						兼3
	都市地域計画	2前		2		3						
	建築環境工学2	2前		2		2						
	材料力学・演習	2前・後		3		1						兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	建築構造計画	2前		2		1	1					
	構造材料	2前		2			1					兼1
	空間建築デザイン演習2	2前		2		1						兼5
	建築設計計画論	2前		2		1						
	都市建築デザイン演習2	2前		2		2						兼5
	建築計画1	2前		2		1						
	西洋建築史	2前		2		1						
	建築スタジオ演習2	2前		2		2						兼1
	プロジェクト研究1	2前		2		1	1					
	色彩・素材論	2後		2								兼1
	建築環境心理学	2後		2								兼1
	日本建築史	2後・3前		2		2						
	BIM演習1	2後		2			1					兼3
	建築設備	2後		2		2						
	建築構造解析・演習	2後		3		1	1					兼1
	仕上げ材料	2後		2			1					兼1
	空間建築デザイン演習3	2後		2		3						兼4
	建築設計論	2後		2		1						兼1
	地域設計論	2後		2		2						
	建築史	2後		2		1						
建築構法	2後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	建築構造計画	2前		2		1	1					
	構造材料	2前		2			2					
	空間建築デザイン演習2	2前		2			3					兼5
	建築設計計画論	2前		2		1						
	都市建築デザイン演習2	2前		2		2						兼5
	建築計画1	2前		2		1						
	西洋建築史	2前		2		1						
	建築スタジオ演習2	2前		2		2						兼1
	プロジェクト研究1	2前		2		1	1					
	色彩・素材論	2後		2								兼1
	建築環境心理学	2後		2								兼1
	日本建築史	2後・3前		2		2						
	BIM演習1	2後		2			1					兼4
	建築設備	2後		2		2						
	建築構造解析・演習	2前・2後		3		1	1					
	仕上げ材料	2後		2			2					
	空間建築デザイン演習3	2後		2			5	2				兼3
	建築設計論	2後		2			2					
	地域設計論	2後		2		2						
	建築史	2後		2		1						
建築構法	2後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	都市建築デザイン演習3	2後	2		1							兼5
	都市建築論	2後	2		1							
	地域マネジメント	2後	2			1						
	木造建築	2後	2		1							
	建築スタジオ演習3	2後	2			1						兼2
	プロジェクト研究2	2後	2		1							兼2
	BIM演習2	3前	2			1						兼4
	空調システム計画	3前	2		2							
	都市環境設備計画	3前	2		1							
	建築振動解析	3前	2		1							兼1
	鉄筋コンクリート造の設計1	3前	2		2							
	鋼構造の設計	3前	2			1						兼1
	建築環境実験	3前	2		3							兼2
	空間建築デザイン演習4	3前	2		4							兼4
	近代建築と技術	3前	2									兼1
	建築構法計画論	3前	2		1							
	建築法規	3前	2									兼1
	都市住宅論	3前	2		1							
	建築生産	3前	2			1						
	建築材料施工実験	3前	2			1						兼1
建築構造実験	3前	2		2	1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	都市建築デザイン演習3	2後	2		1							兼5
	都市建築論	2後	2		1							
	地域マネジメント	2後	2		1							
	木造建築	2後	2		1							
	建築スタジオ演習3	2後	2		1			1				兼1
	プロジェクト研究2	2後	2		1							兼2
	BIM演習2	3前	2		1							兼5
	空調システム計画	3前	2		2							
	都市環境設備計画	3前	2		1							
	建築振動解析	3前	2		1							兼1
	鉄筋コンクリート造の設計1	3前	2		2							
	鋼構造の設計	3前	2			1						兼1
	建築環境実験	3前	2		4							兼1
	空間建築デザイン演習4	3前	2		5	1						兼3
	近代建築と技術	3前	2									兼1
	建築構法計画論	3前	2		1							
	建築法規	3後	2									兼1
	都市住宅論	3前	2		1							
	建築生産	3前	2		1							
	建築材料施工実験	3前	2		1							兼1
建築構造実験	3前	2		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	都市建築デザイン演習4	3前	2			5						兼3
	都市地域デザイン演習	3前	2			1	1					兼1
	近代建築作家論	3前	2			1						
	都市デザイン論	3前	2			1						
	建築プロジェクトマネジメント	3前	2				1					
	建築構工法1	3前	2			1						
	建築材料構造実験	3前	2			2						
	建築スタジオ演習4	3前	2			1	1					
	空間情報デザイン演習	3前	2			1						兼1
	プロジェクト研究3	3前	2			1						兼2
	建築英語	3後	2									兼1
	GIS演習	3後	2			1						
	プロジェクトゼミ	3後	2			22	5	1				
	建築音響計画	3後	2									兼1
	給排水システム計画	3後	2									兼1
	光環境計画	3後	2									兼1
	基礎構造	3後	2									兼1
	鉄筋コンクリート造の設計2	3後	2			1						
	マトリックス構造解析	3後	2			1						
	建築防災	3後	2			1						
空間地域デザイン演習	3後	2			2						兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	都市建築デザイン演習4	3前	2			5						兼3
	都市地域デザイン演習	3前	2			2						兼1
	近代建築作家論	3前	2			1						
	都市デザイン論	3前	2			1						
	建築プロジェクトマネジメント	3前	2			1						
	建築構工法1	3前	2			1						
	建築材料構造実験	3前	2			3						
	建築スタジオ演習4	3前	2			1	1					兼1
	空間情報デザイン演習	3前	2			1						兼1
	プロジェクト研究3	3前	2			1						兼2
	建築英語	3後	2									兼1
	GIS演習	3後	2			1						
	プロジェクトゼミ	3後	2			30	2	1				
	建築音響計画	3後	2			1						
	給排水システム計画	3後	2									兼1
	光環境計画	3後	2									兼1
	基礎構造	3後	2									兼1
	鉄筋コンクリート造の設計2	3後	2			1						
	マトリックス構造解析	3後	2			1						兼1
	建築防災	3後	2			1						
空間地域デザイン演習	3後	2			2						兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ランドスケープ論	3後	2									兼1
	建築文化史	3後	2		1							
	施工計画・管理	3後	2									兼1
	木造建築の設計	3後	2									兼1
	建築計画2	3後	2		1							
	建築・都市法規	3後	2		1							
	都市開発マネジメント	3後	2									兼2
	近代建築史	3後	2									兼1
	建築経済	3後	2									兼1
	建築構工法2	3後	2									兼1
	空間保全再生計画	3後	2									兼1
	維持保全・改修	3後	2		1	1						
	卒業研究	4通	4			22	5	1				
	建築家職能論	4前	2									兼1
	都市防災計画	4前	2									兼1
	海外建築研修	4前	2									兼1
	国内プロジェクト1	2後	2		1							兼1
	国内プロジェクト2	1・2・3前	1			1						
	国内プロジェクト3	1・2・3後	1		1							
	国内プロジェクト4	1・2・3前	1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ランドスケープ論	3後	2									兼1
	建築文化史	3後	2		1							
	施工計画・管理	3後	2									兼1
	木造建築の設計	3後	2									兼1
	建築計画2	3後	2		1							
	建築・都市法規	3後	2		1							
	都市開発マネジメント	3後	2									兼2
	近代建築史	3後	2									兼1
	建築経済	3後	2									兼1
	建築構工法2	3後	2									兼1
	空間保全再生計画	3後	2									兼1
	維持保全・改修	3後	2				3					
	卒業研究1	4前・後	2			29	2	1				
	卒業研究2	4前・後	2			29	2	1				
	建築家職能論	4前	2									兼1
	都市防災計画	3後	2									兼1
	海外建築研修	2後	2				4					
	国内プロジェクト1	1・2・3前・後	1					1	1			
	国内プロジェクト2	1・2・3前・後	1					1		1		
	国内プロジェクト3	1・2・3前・後	1						1	1		
国内プロジェクト4	1・2・3前・後	1					1		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	インターンシップ1	1・2・3後	1			1						
	インターンシップ2	3・4前	1			1						
	国際プロジェクトA	3・4後	1			1						
	国際プロジェクトB	1・2・3・4前	1			1						
	韓国建築実習A	1・2・3・4後	1			1						
	韓国建築実習B	3前	2			2						
	フランス建築実習A	3前	2			2						
	フランス建築実習B	3前	2			1		1				
	イタリア建築実習A	3前	2			1		1				
	イタリア建築実習B	3後	2			1		1			兼1	
	ロシア建築実習A	3後	2			1		1			兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	インターンシップ1	3・4前・後	1			1						
	インターンシップ2	3・4前・後	1			1						
	国際プロジェクト1A	1・2・3・4前・後	1			1						
	国際プロジェクト2A	1・2・3・4前・後	1			1						
	国際プロジェクト3A	1・2・3・4前・後	1			1						
	国際プロジェクト4A	1・2・3・4前・後	1			1						
	国際プロジェクト1B	1・2・3・4前・後	1			1						
	国際プロジェクト2B	1・2・3・4前・後	1			1						
	国際プロジェクト3B	1・2・3・4前・後	1			1						
	国際プロジェクト4B	1・2・3・4前・後	1			1						
	韓国建築実習A	3前・後	2			2			1			
	韓国建築実習B	3前・後	2			2			1			
	フランス建築実習A	3前・後	2			2			1			
フランス建築実習B	3前・後	2			2			1				
イタリア・ラクイラ建築実習A	3前・後	2			2			1				
イタリア・ラクイラ建築実習B	3前・後	2			2			1				
イタリア・ローマ建築実習A	2前・後	2			2			1				
イタリア・ローマ建築実習B	2前・後	2			2			1				
ロシア建築実習A	3前・後	2			2			1			兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	ロシア建築実習B	3後		2		1					兼1
	芝浦工業大学通論	1前・後		2		1					兼1
共通・教養科目／数理基礎科目／数学科目	微分積分第1	1前		2							兼6
	微分積分第2	1前		2							兼6
	線形代数1	1前		2							兼6
	微分積分第3	1後		2							兼7
	微分積分第4	1後		2							兼4
	線形代数2	1後		2							兼4
	確率と統計1	2前		2							兼6
	微分方程式	2前		2							兼3
	ベクトル解析	2前		2							兼1
	フーリエ解析	2前		2							兼1
	確率と統計2	2後		2							兼1
	ラプラス変換	2後		2							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	ロシア建築実習B	3前・後		2		1					兼1
共通・教養科目／数理基礎科目／数学科目	微分積分第1	1前・後		2				1			兼4
	微分積分第2	1前・後		2				1			兼4
	線形代数第1	1前・後		1		1					兼4
	線形代数第2	1前・後		1		1					兼4
	微分積分第3	1前・後		2							兼4
	微分積分第4	1前・後		2							兼4
	線形代数第3	1前・後		1							兼5
	線形代数第4	1前・後		1							兼5
	確率と統計第1	2前・後		1				1			兼2
	確率と統計第2	2前・後		1				1			兼2
	微分方程式第1	2前・後		1				1			兼2
	微分方程式第2	2前・後		1				1			兼2
ベクトル解析第1	2前・後		1				1			兼3	
ベクトル解析第2	2前・後		1				1			兼3	
フーリエ解析第1	2前・後		1							兼3	
フーリエ解析第2	2前・後		1							兼3	
確率と統計第3	2前・後		1		1					兼2	
確率と統計第4	2前・後		1		1					兼2	
ラプラス変換第1	2前・後		1							兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通・教養科目／数理基礎科目／数学	関数論	2後		2								兼1
共通・教養科目／数理基礎科目／理科学目	物理学入門	1前		26								兼14
	基礎力学	1後		2								兼3
	基礎力学演習	1後		2								兼1
	基礎環境化学	1前・後		2								兼1
	基礎電磁気学	1後		2								兼2
	基礎電磁気学演習	1後		2								兼1
	基礎熱統計力学	2前		2								兼1
基礎熱統計力学演習	2前		2								兼1	
共通・教養科目／外国語科目／英語科目	Listening and Speaking I	1前		16								兼6
	Reading and Writing I	1後		2								兼4
	English Communication I	1後		2								兼4
	TOEIC IA	2前		2								兼5
	Reading IA	2前		2								兼2
	Writing IA	2前		2								兼1
	Presentation I	2前		2								兼1
	TOEIC IB	2後		2								兼1
	Reading IB	2後		2								兼1
	Writing IB	2後		2								兼1
Presentation II	2後		2								兼1	
TOEIC II	3前		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通・教養科目／数理基礎科目／数学	ラプラス変換第2	2前・後		1								兼2
	関数論第1	2前・後		1		1						兼4
	関数論第2	2前・後		1		1						兼4
共通・教養科目／数理基礎科目／理科学目	物理学入門	1前・後		2								兼4
	基礎力学	1後		2								兼1
	基礎力学演習	1後		2								兼1
	基礎環境化学	1前・後		2								兼1
	基礎電磁気学	1後		2								兼1
	基礎電磁気学演習	1後		2								兼1
	基礎熱統計力学	2前		2								兼1
基礎熱統計力学演習	2前		2								兼1	
共通・教養科目／外国語科目／英語科目	Listening and Speaking	1前		2		1						兼3
	Reading and Writing	1後		2		1						兼3
	English Communication	2前・後		2		1						兼3
	TOEIC 1	2前・後		2								兼1
	Reading	2前・後		2								兼1
	Writing	2前・後		2		1						兼2
	Presentation I	2前・後		2		1						兼1
	Presentation II	2前・後		2								兼1
	TOEIC 2	2前・後		2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 手	
共通・教養科目 ／人文社会・ 情報系教養科目	応用経済学	3・4 前・ 後	24							兼8
	情報アクセシビ リティ論	2・ 3・4 前・ 後	2							兼1
	映像メディア論	2・ 3・4 前・ 後	2							兼1
	情報時代の地域・ 都市	2・ 3・4 後	2							兼1
	生産と消費の環境 論	2・ 3・4 前・ 後	2							兼1
	地域環境マネジメ ント	3・4 後	2							兼1
	環境学入門	1・ 2・ 3・4 前・ 後	2							兼1
	環境経済学	3・4 前・ 後	2							兼3
	人間社会と環境問 題	1・ 2・ 3・4 前・ 後	2							兼1
	地域と環境	2・ 3・4 後	2							兼2
	福祉と技術	1・ 2・ 3・4 前・ 後	2							兼1
	アジア文化論	1・ 2・ 3・4 前・ 後	2							兼4
	ジェンダー論	2・ 3・4 前・ 後	2							兼1
	哲学	3・4 前	2							兼1
	倫理学	3・4 後	2							兼1
	技術者の倫理	1・ 2・ 3・4 前	2							兼1
科学技術倫理学	3・4 前・ 後	2							兼1	
生命倫理	1・ 2・ 3・4 前・ 後	2							兼1	
現代史	1・ 2・ 3・4 前	2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 手	
共通・教養科目 ／人文社会・ 情報系教養科目	応用経済学	3・4 前・ 後	2							兼1
	情報アクセシビ リティ論	2・ 3・4 前・ 後	2							兼1
	映像メディア論	2・ 3・4 前・ 後	2							兼1
	情報時代の地域・ 都市	2・ 3・4 後	2							兼1
	生産と消費の環境 論	2・ 3・4 前・ 後	2				1			
	地域環境マネジメ ント	3・4 前・ 後	2				1			
	環境学入門	1・ 2・ 3・4 前・ 後	2				1			
	環境経済学	3・4 前・ 後	2							兼1
	人間社会と環境問 題	1・ 2・ 3・4 前・ 後	2				1			
	地域と環境	2・ 3・4 前・ 後	2				1			
	福祉と技術	1・ 2・ 3・4 前・ 後	2							兼4
	アジア文化論	1・ 2・ 3・4 前・ 後	2							兼1
	ジェンダー論	2・ 3・4 前・ 後	2							兼1
	哲学	3・4 前・ 後	2							兼1
	倫理学	3・4 前・ 後	2							兼1
	技術者の倫理	1・ 2・ 3・4 前・ 後	2							兼2
科学技術倫理学	3・4 前・ 後	2							兼1	
生命倫理	1・ 2・ 3・4 前・ 後	2							兼1	
現代史	1・ 2・ 3・4 前・ 後	2					1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通・教養科目／人文社会・情報系教養科目	芸術学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	文化人類学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	比較文化論	3・4前・後	2								兼1
	文学論	1・2・3・4前・後	2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2								兼1
	知的財産法	3・4前・後	2								兼1
	法学入門	1・2・3・4前・後	2								兼1
	民法	2・3・4前	2								兼1
	現代日本の地方自治	2・3・4前・後	2								兼1
	経済学入門	1・2・3・4前・後	2								兼1
	ミクロ経済学	1・2・3・4前	2								兼2
	マクロ経済学	1・2・3・4後	2								兼1
	企業システム論	3・4前・後	2								兼1
	社会学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	地域社会学	2・3・4前・後	2								兼1
	文学表現法	3・4前・後	2								兼1
プレゼンテーション入門	1・2・3・4前	2								兼1	
レポートライティング	1・2・3・4前・後	2								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通・教養科目／人文社会・情報系教養科目	芸術学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	文化人類学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	比較文化論	3・4前・後	2								兼1
	文学論	1・2・3・4前・後	2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2								兼1
	知的財産法	3・4前・後	2								兼1
	法学入門	1・2・3・4前・後	2								兼1
	民法	2・3・4前・後	2								兼1
	現代日本の地方自治	2・3・4前・後	2								兼1
	経済学入門	1・2・3・4前・後	2								兼2
	ミクロ経済学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	マクロ経済学	1・2・3・4後	2								兼1
	企業システム論	3・4前・後	2								兼1
	社会学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	地域社会学	2・3・4前・後	2								兼1
	文学表現法	3・4前・後	2								兼1
プレゼンテーション入門	1・2・3・4前・後	2								兼2	
レポートライティング	1・2・3・4前・後	2								兼3	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼任	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
共通・ 教養科目 ／ 人文社会・ 情報系 教養科目	情報リテラシ	1前	2										兼4
	ウェルネス・スポー ツ (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	76										兼3
	ウェルネス・スポー ツ (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼2
	バスケットボール (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼1
	バスケットボール (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼1
	軟式野球 (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼1
	軟式野球 (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼1
	卓球 (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼1
	卓球 (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼1
	サッカー (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼2
	テニス (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼1
	テニス (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼1
	フットサル (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼1
フットサル (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼1	
ゴルフ (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼1	
ゴルフ (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼1	
ゴルフアドバンス (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼4	
フライングフットボ ール (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼任	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
共通・ 教養科目 ／ 人文社会・ 情報系 教養科目	グローバリゼー ション論	2・ 3・4 前・ 後	2						1				
	地域調査・分析入 門	2・ 3・4 前・ 後	2						1				
	地域と経済	2・ 3・4 前・ 後	2						1				
	情報リテラシ	1前	2										兼2
共通・ 教養科目 ／ 体育・ 健康科 目 ／ 身体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル 科 目	ウェルネス・スポー ツ (テクニカル)	3・4 前	1										兼1
	ウェルネス・スポー ツ (スポーツコミュニ ケーション)	3・4 後	1										兼1
	バスケットボール (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼1
	バスケットボール (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼1
	軟式野球 (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼1
	軟式野球 (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼1
	卓球 (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼1
	卓球 (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼1
	サッカー (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼1
	テニス (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼1
	テニス (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼1
	フットサル (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼1
	フットサル (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼1
ゴルフ (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼1	
ゴルフ (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼3	
ゴルフアドバンス (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 前	1										兼2	
フライングフットボ ール (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1										兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	手	
共通・教養科目 ／ 体育・健康科目 ／ 身体的コミュニケーション スキル科目	ソフトボール (スポーツコミュニケーション)	1・2・3・4後	1									兼1
	バドミントン (スポーツコミュニケーション)	1・2・3・4前	1									兼1
	バレーボール (スポーツコミュニケーション)	1・2・3・4後	1									兼1
	スキー (スポーツコミュニケーション)	1・2・3・4後	1									兼1
	フィットネスA	3・4前	1									兼5
	フィットネスB	3・4後	1									兼2
共通・教養科目 ／ 体育・健康科目 ／ 理論科目	身体運動のバイオメカニクス	1・2・3・4前	23									兼13
	スポーツ生理学	1・2・3・4後	2									兼1
	スポーツ健康学	3・4前・後	2									兼1
	ヘルスリテラシー &スポーツコミュニケーション	1・2・3・4前	2									兼1
	ヘルスコンディショニング演習	1・2・3・4後	2									兼2
	エクササイズ演習(基礎)	3・4前	2									兼1
エクササイズ演習(応用)	3・4後	2									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	手	
共通・教養科目 ／ 体育・健康科目 ／ 身体的コミュニケーション スキル科目	ソフトボール (スポーツコミュニケーション)	1・2・3・4後	1									兼1
	バドミントン (スポーツコミュニケーション)	1・2・3・4後	1									兼1
	バドミントン(テクニカル)	1・2・3・4前	1									兼1
	バレーボール (スポーツコミュニケーション)	1・2・3・4後	1									兼1
	スキー (スポーツコミュニケーション)	1・2・3・4後	1									兼3
	フィットネスA	3・4前	1									兼1
フィットネスB	3・4後	1										
共通・教養科目 ／ 体育・健康科目 ／ 理論科目	身体運動のバイオメカニクス	1・2・3・4前	2									兼1
	スポーツ生理学	1・2・3・4後	2									兼1
	スポーツ健康学	3・4前・後	2									兼1
	ヘルスリテラシー &スポーツコミュニケーション	1・2・3・4前	2									兼2
	ヘルスコンディショニング演習	1・2・3・4前	2									兼1
	エクササイズ演習(基礎)	3・4前	2									
エクササイズ演習(応用)	3・4後	2										
全学共通科目	芝浦工業大学通論	1・2・3・4前・後	2									兼2
	ダイバーシティ入門	1・2・3・4前・後	2									兼3
	Japanese Language I	1・2・3・4前・後	2									兼1
	Japanese Language II	1・2・3・4前・後	2									兼2
	Japanese Language III	1・2・3・4前・後	2									兼1
	技術経営入門	1・2・3・4前・後	2									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科課程 外科目	海外語学演習1	1・2・3・4 前・後		2								
	海外語学演習2	1・2・3・4 前・後		2								
	海外語学演習3	1・2・3・4 前・後		2								
	海外語学演習4	1・2・3・4 前・後		2								
	海外語学演習(短期)1	1・2・3・4 前・後		1								
	海外語学演習(短期)2	1・2・3・4 前・後		1								
	海外語学演習(短期)3	1・2・3・4 前・後		1								
	海外語学演習(短期)4	1・2・3・4 前・後		1								

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	建築デザイン基礎1	1前	2			3					兼5 →兼6
	建築デザイン入門	1前		2		2					兼1
	居住空間史	1前		2		2					
	力学の基礎	1前		2		4	1				
	デザイン史	1後		2							兼1
	建築デザイン基礎2	1後	2			2					兼7
	建築の形態と空間	1後		2		2					
	建築環境工学1	1後	2			2					
	構造力学・演習	1後	3			2					兼1
	空間建築デザイン演習1	1後		2		2					
	都市建築デザイン演習1	1後		2				1			兼1
	建築ものづくり	1後		2		1					
	建築スタジオ演習1	1後		2		1					兼2
	住生活論	2前		2							兼1
	CAD・CG演習	2前		2		1					兼3
	都市地域計画	2前		2		2	1				
	建築環境工学2	2前		2		1					兼1
	材料力学・演習	2前		3		1					兼2
	建築構造計画	2前		2		1	1				
	構造材料	2前		2		1					兼1
空間建築デザイン演習2	2前		2		1					兼5	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	建築デザイン基礎1	1前	2			3					兼6
	建築デザイン入門	1前		2		20	1	1			兼4
	居住空間史	1前		2		2					
	力学の基礎	1前		2		5	1				
	デザイン史	1後		2							兼1
	建築デザイン基礎2	1後	2			2					兼8
	建築の形態と空間	1後		2		2					
	建築環境工学1	1後	2			2					
	構造力学・演習	1後	3			2					兼1
	空間建築デザイン演習1	1後		2		3					兼1
	都市建築デザイン演習1	1後		2				1			兼2
	建築ものづくり	1後		2		1					
	建築スタジオ演習1	1後		2		1					兼2
	住生活論	2前		2							兼1
	CAD・CG演習	2前		2		1					兼3
	都市地域計画	2前		2		3					
	建築環境工学2	2前		2		2					
	材料力学・演習	2前		3		1					兼2
	建築構造計画	2前		2		1	1				
	構造材料	2前		2		2					
空間建築デザイン演習2	2前		2		3					兼5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	建築設計計画論	2前		2		1						
	都市建築デザイン演習2	2前		2		2					兼5	
	建築計画1	2前		2		1						
	西洋建築史	2前		2		1						
	建築スタジオ演習2	2前		2		2					兼1	
	プロジェクト研究1	2前		2		1	1					
	色彩・素材論	2後		2							兼1	
	建築環境心理学	2後		2							兼1	
	日本建築史	2後・3前		2		2						
	BIM演習1	2後		2		1					兼3	
	建築設備	2後		2		2						
	建築構造解析・演習	2後		3		1	1				兼1	
	仕上げ材料	2後		2		1					兼1	
	空間建築デザイン演習3	2後		2		3					兼4	
	建築設計論	2後		2		1					兼1	
	地域設計論	2後		2		2						
	建築史	2後		2		1						
	建築構法	2後		2		1						
	都市建築デザイン演習3	2後		2		1					兼5	
	都市建築論	2後		2		1						
地域マネジメント	2後		2			1						
木造建築	2後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	建築設計計画論	2前		2		1						
	都市建築デザイン演習2	2前		2		2						兼5
	建築計画1	2前		2		1						
	西洋建築史	2前		2		1						
	建築スタジオ演習2	2前		2		2						兼1
	プロジェクト研究1	2前		2		1	1					
	色彩・素材論	2後		2								兼1
	建築環境心理学	2後		2								兼1
	日本建築史	2後・3前		2		2						
	BIM演習1	2後		2		1						兼3
	建築設備	2後		2		2						
	建築構造解析・演習	2前・2後		3		1	1					
	仕上げ材料	2後		2		2						
	空間建築デザイン演習3	2後		2		4	1					兼2
	建築設計論	2後		2		2						
	地域設計論	2後		2		2						
	建築史	2後		2		1						
	建築構法	2後		2		1						
	都市建築デザイン演習3	2後		2		1						兼5
	都市建築論	2後		2		1						
地域マネジメント	2後		2		1							
木造建築	2後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	建築スタジオ演習3	2後		2			1				兼2
	プロジェクト研究2	2後		2		1					兼2
	BIM演習2	3前		2		1					兼4
	空調システム計画	3前		2		2					
	都市環境設備計画	3前		2		1					
	建築振動解析	3前		2		1					兼1
	鉄筋コンクリート造の設計1	3前		2		2					
	鋼構造の設計	3前		2			1				兼1
	建築環境実験	3前		2		3					兼2
	空間建築デザイン演習4	3前		2		4					兼4
	近代建築と技術	3前		2							兼1
	建築構法計画論	3前		2		1					
	建築法規	3前		2							兼1
	都市住宅論	3前		2		1					
	建築生産	3前		2		1					
	建築材料施工実験	3前		2		1					兼1
	建築構造実験	3前		2		2	1				
	都市建築デザイン演習4	3前		2		5					兼3
	都市地域デザイン演習	3前		2		1	1				兼1
	近代建築作家論	3前		2		1					
都市デザイン論	3前		2		1						
建築プロジェクトマネジメント	3前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	建築スタジオ演習3	2後		2					1		兼2
	プロジェクト研究2	2後		2		1					兼2
	BIM演習2	3前		2		1					兼4
	空調システム計画	3前		2		2					
	都市環境設備計画	3前		2		1					
	建築振動解析	3前		2		1					兼1
	鉄筋コンクリート造の設計1	3前		2		2					
	鋼構造の設計	3前		2				1			兼1
	建築環境実験	3前		2		4					兼1
	空間建築デザイン演習4	3前		2		5					兼3
	近代建築と技術	3前		2							兼1
	建築構法計画論	3前		2		1					
	建築法規	3前		2							兼1
	都市住宅論	3前		2		1					
	建築生産	3前		2		1					
	建築材料施工実験	3前		2		1					兼1
	建築構造実験	3前		2		2	1				
	都市建築デザイン演習4	3前		2		5					兼3
	都市地域デザイン演習	3前		2		2					兼1
	近代建築作家論	3前		2		1					
都市デザイン論	3前		2		1						
建築プロジェクトマネジメント	3前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	建築構工法1	3前		2		1					
	建築材料構造実験	3前		2		2					
	建築スタジオ演習4	3前		2		1	1				
	空間情報デザイン演習	3前		2		1				兼1	
	プロジェクト研究3	3前		2		1				兼2	
	建築英語	3後		2						兼1	
	GIS演習	3後		2		1					
	プロジェクトゼミ	3後		2		25	3	1			
	建築音響計画	3後		2						兼1	
	給排水システム計画	3後		2						兼1	
	光環境計画	3後		2						兼1	
	基礎構造	3後		2						兼1	
	鉄筋コンクリート造の設計2	3後		2		1					
	マトリックス構造解析	3後		2		1					
	建築防災	3後		2		1					
	空間地域デザイン演習	3後		2		2				兼1	
	ランドスケープ論	3後		2						兼1	
	建築文化史	3後		2		1					
	施工計画・管理	3後		2						兼1	
	木造建築の設計	3後		2						兼1	
建築計画2	3後		2		1						
建築・都市法規	3後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	建築構工法1	3前		2		1					
	建築材料構造実験	3前		2		2					
	建築スタジオ演習4	3前		2		1	1				
	空間情報デザイン演習	3前		2		1					兼1
	プロジェクト研究3	3前		2		1					兼2
	建築英語	3後		2							兼1
	GIS演習	3後		2		1					
	プロジェクトゼミ	3後		2		30	2	1			
	建築音響計画	3後		2		1					
	給排水システム計画	3後		2							兼1
	光環境計画	3後		2							兼1
	基礎構造	3後		2							兼1
	鉄筋コンクリート造の設計2	3後		2		1					
	マトリックス構造解析	3後		2		1					
	建築防災	3後		2		1					
	空間地域デザイン演習	3後		2		2					兼1
	ランドスケープ論	3後		2							兼1
	建築文化史	3後		2		1					
	施工計画・管理	3後		2							兼1
	木造建築の設計	3後		2							兼1
建築計画2	3後		2		1						
建築・都市法規	3後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	都市開発マネジメント	3後		2							兼2
	近代建築史	3後		2							兼1
	建築経済	3後		2							兼1
	建築構工法2	3後		2							兼1
	空間保全再生計画	3後		2							兼1
	維持保全・改修	3後		2		2					
	卒業研究1	4前・後	2			25	3	1			
	卒業研究2	4前・後	2			25	3	1			
	建築家職能論	4前		2							兼1
	都市防災計画	4前		2							兼1
	海外建築研修	2後		2		1					兼1
	国内プロジェクト1	1・2・3前・後	1				1				
	国内プロジェクト2	1・2・3前・後	1			1					
	国内プロジェクト3	1・2・3前・後	1				1				
	国内プロジェクト4	1・2・3前・後	1			1					
	インターンシップ1	3・4前・後	1			1					
インターンシップ2	3・4前・後	1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	都市開発マネジメント	3後		2							兼2
	近代建築史	3後		2							兼1
	建築経済	3後		2							兼1
	建築構工法2	3後		2							兼1
	空間保全再生計画	3後		2							兼1
	維持保全・改修	3後		2		2					
	卒業研究1	4前・後	2				30	2	1		
	卒業研究2	4前・後	2				30	2	1		
	建築家職能論	4前		2							兼1
	都市防災計画	3後		2							兼1
	海外建築研修	2後		2		1					兼1
	国内プロジェクト1	1・2・3前・後	1				1				
	国内プロジェクト2	1・2・3前・後	1			1					
	国内プロジェクト3	1・2・3前・後	1				1				
	国内プロジェクト4	1・2・3前・後	1			1					
	インターンシップ1	3・4前・後	1			1					
インターンシップ2	3・4前・後	1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	国際プロジェクトA	1・2・3・4前・後	1		1						
	国際プロジェクトB	1・2・3・4前・後	1		1						
	韓国建築実習A	3前・後	2		2						
	韓国建築実習B	3前・後	2		2						
	フランス建築実習A	3前・後	2		1		1				
	フランス建築実習B	3前・後	2		1		1				
	イタリア建築実習A	3前・後	2		1	1					兼1
	イタリア建築実習B	3前・後	2		1	1					兼1
	ロシア建築実習A	3前・後	2		1						兼1
ロシア建築実習B	3前・後	2		1						兼1	
共通・教養科目／数理基礎科目／数学科目	微分積分第1	1前	2		1						兼2
	微分積分第2	1前	2		1						兼2
	線形代数第1	1前	1		1						兼2
	線形代数第2	1前	1		1						兼2
	微分積分第3	1後	2		1						兼1
	微分積分第4	1後	2		1						兼1
	線形代数第3	1後	1		1						兼1
	線形代数第4	1後	1		1						兼1
	確率と統計第1	2前	1								兼3
	確率と統計第2	2前	1								兼3
	微分方程式第1	2前	1								兼1
	微分方程式第2	2前	1								兼1
ベクトル解析第1	2前	1								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	国際プロジェクトA	1・2・3・4前・後	1		1			1			
	国際プロジェクトB	1・2・3・4前・後	1		1			1			
	韓国建築実習A	3前・後	2		2						
	韓国建築実習B	3前・後	2		2						
	フランス建築実習A	3前・後	2		1		1				
	フランス建築実習B	3前・後	2		1		1				
	イタリア建築実習A	3前・後	2		2						兼1
	イタリア建築実習B	3前・後	2		2						兼1
	ロシア建築実習A	3前・後	2		1						兼1
ロシア建築実習B	3前・後	2		1						兼1	
共通・教養科目／数理基礎科目／数学科目	微分積分第1	1前・後	2		1						兼3
	微分積分第2	1前・後	2		1						兼2
	線形代数第1	1前・後	1		1						兼2
	線形代数第2	1前・後	1		1						兼2
	微分積分第3	1前・後	2		1						兼1
	微分積分第4	1前・後	2		1						兼1
	線形代数第3	1前・後	1		1						兼1
	線形代数第4	1前・後	1		1						兼1
	確率と統計第1	2前・後	1		1						兼3
	確率と統計第2	2前・後	1		1						兼3
	微分方程式第1	2前・後	1		1						兼1
	微分方程式第2	2前・後	1		1						兼1
ベクトル解析第1	2前・後	1		1						兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通・教養科目 ／ 数理基礎科目 ／ 数学科目	ベクトル解析第2	2前	1								兼1
	フーリエ解析第1	2前	1								兼1
	フーリエ解析第2	2前	1								兼1
	確率と統計第3	2後	1								兼1
	確率と統計第4	2後	1								兼1
	ラプラス変換第1	2後	1								兼1
	ラプラス変換第2	2後	1								兼1
	関数論第1	2後	1								兼1
関数論第2	2後	1								兼1	
共通・教養科目 ／ 数理基礎科目 ／ 理科学目	物理学入門	1前	2								兼3
	基礎力学	1後	2								兼1
	基礎力学演習	1後	2								兼1
	基礎環境化学	1前・後	2								兼2
	基礎電磁気学	1後	2								兼1
	基礎電磁気学演習	1後	2								兼1
	基礎熱統計力学	2前	2								兼1
	基礎熱統計力学演習	2前	2								兼1
共通・教養科目 ／ 外国語科目 ／ 英語科目	Listening and Speaking I	1前	2		1						兼3
	Reading and Writing I	1後	2		1						兼3
	English Communication I	1後	2								兼3
	TOEIC IA	2前	2								兼2
	Reading IA	2前	2								兼1
	Writing IA	2前	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通・教養科目 ／ 数理基礎科目 ／ 数学科目	ベクトル解析第2	2前・後	1			1					兼1
	フーリエ解析第1	2前・後	1								兼1
	フーリエ解析第2	2前・後	1								兼1
	確率と統計第3	2前・後	1								兼1
	確率と統計第4	2前・後	1								兼1
	ラプラス変換第1	2前・後	1								兼1
	ラプラス変換第2	2前・後	1								兼1
	関数論第1	2前・後	1			1					兼1
関数論第2	2前・後	1			1					兼1	
共通・教養科目 ／ 数理基礎科目 ／ 理科学目	物理学入門	1前・後	2								兼3
	基礎力学	1後	2								兼1
	基礎力学演習	1後	2								兼1
	基礎環境化学	1前・後	2								兼2
	基礎電磁気学	1後	2								兼1
	基礎電磁気学演習	1後	2								兼1
	基礎熱統計力学	2前	2								兼1
	基礎熱統計力学演習	2前	2								兼1
共通・教養科目 ／ 外国語科目 ／ 英語科目	Listening and Speaking I	1前	2			1					兼3
	Reading and Writing I	1後	2			1					兼3
	English Communication I	1後	2								兼3
	TOEIC IA	2前	2								兼2
	Reading IA	2前	2								兼1
	Writing IA	2前	2					1			兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通・教養科目／外国語科目／英語科目	Presentation I	2前	2								兼1
	TOEIC IB	2後	2								兼1
	Reading IB	2後	2								兼1
	Writing IB	2後	2								兼1
	Presentation II	2後	2								兼1
	TOEIC II	3前	2								兼1
共通・教養科目／人文社会・情報系教養科目	応用経済学	3・4前・後	2								兼1
	情報アクセシビリティ論	2・3・4前・後	2								兼1
	映像メディア論	2・3・4前・後	2								兼1
	情報時代の地域・都市	2・3・4前・後	2								兼1
	生産と消費の環境論	2・3・4前・後	2								兼1
	地域環境マネジメント	2・3・4前・後	2								兼1
	環境学入門	1・2・3・4前・後	2								兼1
	環境経済学	3・4前・後	2								兼1
	人間社会と環境問題	1・2・3・4前・後	2								兼2
	地域と環境	2・3・4前・後	2								兼1
	福祉と技術	1・2・3・4前・後	2								兼4
	アジア文化論	1・2・3・4前・後	2								兼1
	ジェンダー論	2・3・4前・後	2								兼1
	哲学	3・4前・後	2								兼1
倫理学	3・4前・後	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通・教養科目／外国語科目／英語科目	Presentation I	2前	2			1					
	TOEIC IB	2後	2								兼1
	Reading IB	2後	2								兼1
	Writing IB	2後	2				1				
	Presentation II	2後	2				1				
	TOEIC II	3前	2								兼1
共通・教養科目／人文社会・情報系教養科目	応用経済学	3・4前・後	2								兼1
	情報アクセシビリティ論	2・3・4前・後	2								兼1
	映像メディア論	2・3・4前・後	2								兼1
	情報時代の地域・都市	2・3・4前・後	2								兼1
	生産と消費の環境論	2・3・4前・後	2				1				
	地域環境マネジメント	2・3・4前・後	2								兼1
	環境学入門	1・2・3・4前・後	2				1				
	環境経済学	3・4前・後	2								兼1
	人間社会と環境問題	1・2・3・4前・後	2				1				
	地域と環境	2・3・4前・後	2				1				
	福祉と技術	1・2・3・4前・後	2								兼4
	アジア文化論	1・2・3・4前・後	2								兼1
	ジェンダー論	2・3・4前・後	2								兼1
	哲学	3・4前・後	2								兼1
倫理学	3・4前・後	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通・教養科目／人文社会・情報系教養科目	技術者の倫理	1・2・3・4 前・後	2								兼2
	科学技術倫理学	3・4 前・後	2								兼1
	生命倫理	1・2・3・4 前・後	2								兼1
	現代史	1・2・3・4 前・後	2								兼1
	芸術学	1・2・3・4 前・後	2								兼1
	文化人類学	1・2・3・4 前・後	2								兼1
	比較文化論	3・4 前・後	2								兼1
	文学論	1・2・3・4 前・後	2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4 前・後	2								兼1
	知的財産法	3・4 前・後	2								兼1
	法学入門	1・2・3・4 前・後	2								兼1
	民法	2・3・4 前・後	2								兼1
	現代日本の地方自治	2・3・4 前・後	2								兼1
	経済学入門	1・2・3・4 前・後	2								兼2
	ミクロ経済学	1・2・3・4 前・後	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通・教養科目／人文社会・情報系教養科目	技術者の倫理	1・2・3・4 前・後	2								兼2
	科学技術倫理学	3・4 前・後	2								兼1
	生命倫理	1・2・3・4 前・後	2								兼1
	現代史	1・2・3・4 前・後	2						1		
	芸術学	1・2・3・4 前・後	2								兼1
	文化人類学	1・2・3・4 前・後	2								兼1
	比較文化論	3・4 前・後	2								兼1
	文学論	1・2・3・4 前・後	2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4 前・後	2								兼1
	知的財産法	3・4 前・後	2								兼1
	法学入門	1・2・3・4 前・後	2								兼1
	民法	2・3・4 前・後	2								兼1
	現代日本の地方自治	2・3・4 前・後	2								兼1
	経済学入門	1・2・3・4 前・後	2								兼2
	ミクロ経済学	1・2・3・4 前・後	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通・教養科目／人文社会・情報系教養科目	マクロ経済学	1・2・3・4前・後	2							兼1
	企業システム論	3・4前・後	2							
	社会学	1・2・3・4前・後	2							兼1
	地域社会学	2・3・4前・後	2							兼1
	文学表現法	3・4前・後	2							兼1
	プレゼンテーション入門	1・2・3・4前	2							兼2
	レポートライティング	1・2・3・4前・後	2							兼3
	グローバリゼーション論	1・2・3・4前・後	2							
	地域調査分析入門	1・2・3・4前・後	2							
	地域と経済	1・2・3・4前・後	2							
情報リテラシ	1前	2							兼2	
共通・教養科目／ケイション／体育・健康科目／身体的コミュニケーション	ウェルネス・スポーツ (テクニカル)	3・4前	1							兼1
	ウェルネス・スポーツ (スポーツコミュニケーション)	3・4後	1							兼1
	バスケットボール (テクニカル)	1・2・3・4前	1							兼1
	バスケットボール (スポーツコミュニケーション)	1・2・3・4後	1							兼1
	軟式野球 (テクニカル)	1・2・3・4前	1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通・教養科目／人文社会・情報系教養科目	マクロ経済学	1・2・3・4後	2							兼1
	企業システム論	3・4前・後	2							兼1
	社会学	1・2・3・4前・後	2							兼1
	地域社会学	2・3・4前・後	2							兼1
	文学表現法	3・4前・後	2							兼1
	プレゼンテーション入門	1・2・3・4前・後	2							兼2
	レポートライティング	1・2・3・4前・後	2							兼3
	グローバリゼーション論	2・3・4前・後	2					1		
	地域調査・分析入門	2・3・4前・後	2					1		
	地域と経済	2・3・4前・後	2					1		
情報リテラシ	1前	2							兼2	
共通・教養科目／ケイション／体育・健康科目／身体的コミュニケーション	ウェルネス・スポーツ (テクニカル)	3・4前	1							兼1
	ウェルネス・スポーツ (スポーツコミュニケーション)	3・4後	1							兼1
	バスケットボール (テクニカル)	1・2・3・4前	1							兼1
	バスケットボール (スポーツコミュニケーション)	1・2・3・4後	1							兼1
	軟式野球 (テクニカル)	1・2・3・4前	1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通・教養科目 ／ 体育・健康科目 ／ 身体的 コミュニ ケーシ ョン スキ ル科 目	軟式野球 (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	卓球 (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼1
	卓球 (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	サッカー (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	テニス (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼1
	テニス (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	フットサル (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼1
	フットサル (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	ゴルフ (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼1
	ゴルフ (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼3
	ゴルフアドバンス (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼2
	フライングフットボ ール (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	ソフトボール (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	バドミントン(テクニ カル)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼1
	バドミントン (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
バレーボール (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1	
スキー (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼3	
フィットネスA	3・4 前	1								兼1	
フィットネスB	3・4 後	1									
共通・教養 科目 ／ 理 論 ／ 体 育 ・ 健 康	身体運動のバイオ メカニクス	1・ 2・ 3・4 前	2								兼1
	スポーツ生理学	1・ 2・ 3・4 後	2								兼1
	スポーツ健康学	3・4 前・ 後	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通・教養科目 ／ 体育・健康科目 ／ 身体的 コミュニ ケーシ ョン スキ ル科 目	軟式野球 (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	卓球 (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼1
	卓球 (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	サッカー (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	テニス (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼1
	テニス (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	フットサル (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼1
	フットサル (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	ゴルフ (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼1
	ゴルフ (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼3
	ゴルフアドバンス (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼2
	フライングフットボ ール (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	ソフトボール (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
	バドミントン(テクニ カル)	1・ 2・ 3・4 前	1								兼1
	バドミントン (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1
バレーボール (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼1	
スキー (スポーツコミュニ ケーション)	1・ 2・ 3・4 後	1								兼3	
フィットネスA	3・4 前	1								兼1	
フィットネスB	3・4 後	1									
共通・教養 科目 ／ 理 論 ／ 体 育 ・ 健 康	身体運動のバイオ メカニクス	1・ 2・ 3・4 前	2								兼1
	スポーツ生理学	1・ 2・ 3・4 後	2								兼1
	スポーツ健康学	3・4 前・ 後	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通・教養科目 ／理論科目 ／体育・健康科目	ヘルスリテラシー &スポーツコミュニケーション	1・2・3・4 前	2							兼2
	ヘルスコンディショニング演習	1・2・3・4 前	2							兼1
	エクササイズ演習(基礎)	3・4 前	2							
	エクササイズ演習(応用)	3・4 後	2							
全学共通科目	芝浦工業大学通論	1・2・3・4 前・後		2						兼1
	ダイバーシティ入門	1・2・3・4 前・後		2						兼1
	Japanese Language I	1・2・3・4 前・後		2						兼1
	Japanese Language II	1・2・3・4 前・後		2						兼1
	Japanese Language III	1・2・3・4 前・後		2						兼1
学科課程外科目	海外語学演習1	1・2・3・4 前・後		2						
	海外語学演習2	1・2・3・4 前・後		2						
	海外語学演習3	1・2・3・4 前・後		2						
	海外語学演習4	1・2・3・4 前・後		2						
	海外語学演習(短期)1	1・2・3・4 前・後		1						
	海外語学演習(短期)2	1・2・3・4 前・後		1						
	海外語学演習(短期)3	1・2・3・4 前・後		1						
	海外語学演習(短期)4	1・2・3・4 前・後		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通・教養科目 ／理論科目 ／体育・健康科目	ヘルスリテラシー &スポーツコミュニケーション	1・2・3・4 前	2							兼2
	ヘルスコンディショニング演習	1・2・3・4 前	2							兼1
	エクササイズ演習(基礎)	3・4 前	2							
	エクササイズ演習(応用)	3・4 後	2							
全学共通科目	芝浦工業大学通論	1・2・3・4 前・後		2						兼2
	ダイバーシティ入門	1・2・3・4 前・後		2						兼3
	Japanese Language I	1・2・3・4 前・後		2						兼2
	Japanese Language II	1・2・3・4 前・後		2						兼2
	Japanese Language III	1・2・3・4 前・後		2						兼2
学科課程外科目	海外語学演習1	1・2・3・4 前・後		2						
	海外語学演習2	1・2・3・4 前・後		2						
	海外語学演習3	1・2・3・4 前・後		2						
	海外語学演習4	1・2・3・4 前・後		2						
	海外語学演習(短期)1	1・2・3・4 前・後		1						
	海外語学演習(短期)2	1・2・3・4 前・後		1						
	海外語学演習(短期)3	1・2・3・4 前・後		1						
	海外語学演習(短期)4	1・2・3・4 前・後		1						

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

特になし。

【平成30年度】

- ・教育的効果の向上を理由に、専門科目の一部科目で担当教員数を増員させた。また教員の昇格が発生した。
- ・グローバル化推進、学修効果の向上を理由に「卒業研究」のセメスター化を実施、また、共通教養科目/数理基礎科目/数学科目をクォーター授業に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、専門科目、人文社会情報系教養科目の一部について開講期を追加。
- ・海外留学プログラムを推進するため、海外語学演習の科目を新設。

【令和元年度】

- ・教授1名の退職に伴い、准教授1名を採用した（英語科目）。講師1名を新規で採用した（数学科目）
- ・専門科目において、科目新設・科目名変更・単位区分の変更を行い、選択必修科目の対象科目を拡充させることで履修機会を増やした。
- ・これまでの学生の履修傾向に鑑み、また、体系的なカリキュラム見直しのため、科目の廃止・新設、配当年次の変更・科目名の変更を行った（英語科目）
- ・担当教員の任用に合わせ、開講期「前期」から「後期」へ今年度のみ変更した（専門科目 1科目）。
- ・全学共通科目1科目を新設。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5	209	1	215	6	235	6	247	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[1]	[26]	[4]	[32]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	エクササイズ演習 (応用)	1	3	一般	選択	共同開講である、工学部にて今年度開講しないため。選択科目であり、かつ体育・健康科目としても他の多くの科目が開講しているため代替措置は行わない。
2	エクササイズ演習 (基礎)	1	3	一般	選択	同上
3	ゴルフアドバンスSC	1	1	一般	選択	同上
4	軟式野球I	1	1	一般	選択	同上

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	Reading IA	2	2	一般	選択	外国語科目卒業要件の8単位で、英語学習に必要な4技能を万遍なく履修することを促すカリキュラム編成が望ましいと考えるため。科目廃止に伴い、同時に科目新設をすることで体系的なカリキュラム構築を行った。
2	Reading IB	2	2	一般	選択	同上
3	Writing IA	2	2	一般	選択	同上
4	Writing IB	2	2	一般	選択	同上
5	TOEIC IA	2	2	一般	選択	同上
6	TOEIC IB	2	3	一般	選択	同上

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、選択科目であり、また、同系列である「体育・健康科目」としても他の多くの科目が開講しているため、カリキュラムや履修上、学生にとって大きな影響はない。共同開講する工学部の開講状況に応じて来年度以降の開講を検討している。廃止科目については、カリキュラム上、代替となる科目を新設するとともに、体系的なカリキュラムを整備し直した。これにより履修機会については維持・増加をはかったため学生にとって履修上の問題はない。今年度の授業科目については未開講・廃止科目を含め、年度初めのガイダンスに加え、大学WEBサイトに記載し、周知を行っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{10}{215} = \boxed{4.65} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	芝浦工業大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部									
機械工学科	4	115	-	445	学士(工学)	1.08	昭和24年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区大学深作307番地	H29.4より15名定員増
機械機能工学科	4	115	-	445	学士(機械機能工学)	1.19	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
材料工学科	4	105	-	405	学士(工学)	1.07	昭和31年度	同上	H29.4より15名定員増
応用化学科	4	105	-	405	学士(工学)	1.10	昭和29年度	同上	H29.4より15名定員増
電気工学科	4	105	-	405	学士(工学)	1.06	昭和25年度	同上	H29.4より15名定員増
情報通信工学科	4	105	-	405	学士(工学)	1.04	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増 H30.4より名称変更
電子工学科	4	105	-	405	学士(工学)	1.07	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
土木工学科	4	105	-	405	学士(工学)	1.07	昭和24年度	同上	H29.4より15名定員増
建築学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	昭和29年度	同上	H29.4より募集停止
建築工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	昭和41年度	同上	H29.4より募集停止
情報工学科	4	115	-	445	学士(工学)	1.09	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
システム理工学部									
電子情報システム学科	4	115	-	445	学士(工学)	1.08	平成3年度	埼玉県さいたま市見沼区大学深作307番地	H29.4より5名定員増
機械制御システム学科	4	90	-	350	学士(工学)	1.11	平成3年度	同上	H29.4より10名定員増
環境システム学科	4	90	-	350	学士(工学)	1.12	平成3年度	同上	H29.4より10名定員増
生命科学科	4	115	-	445	学士(生命科学)	1.05	平成20年度	同上	H29.4より5名定員増
数理科学科	4	75	-	295	学士(数理科学)	1.09	平成21年度	同上	H29.4より5名定員増
デザイン工学部									
デザイン工学科	4	160	-	620	学士(デザイン工学)	1.09	平成21年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区大学深作307番地	H29.4より20名定員増
建築学部									
建築学科	4	240	-	720	学士(建築学)	1.06	平成29年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号	H29.4 開設

大学の名称	芝浦工業大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
芝浦工業大学大学院 理工学研究科 修士課程									
電気電子情報工学専攻	2	110	-	210	修士(工学)	1.03	昭和38年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地	H31.4より10名定員増
材料工学専攻	2	40	-	70	修士(工学)	1.20	昭和38年度	同上	H31.4より10名定員増
応用化学専攻	2	30	-	50	修士(工学)	1.36	昭和38年度	同上	H31.4より10名定員増
機械工学専攻	2	85	-	150	修士(工学)	1.09	昭和51年度	同上	H31.4より20名定員増
建設工学専攻	2	120	-	210	修士(工学)	1.21	昭和51年度	同上	H31.4より30名定員増
システム理工学専攻	2	75	-	125	修士(システム理工学)	1.39	平成23年度	同上	H31.4より25名定員増
国際理工学専攻	2	10	-	20	修士(理工学)	0.45	平成29年度	同上	
博士(後期)課程									
地域環境システム専攻	3	12	-	32	博士(工学)又は博士(学術)	0.83	平成7年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地	H31.4より2名定員増
機能制御システム専攻	3	15	-	31	博士(工学)又は博士(学術)	1.63	平成7年度	同上	H31.4より7名定員増

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

○教育効果を考慮し、兼任講師を追加

【平成30年度】

○教育効果を考慮し、兼任講師を追加

○専任教員の定年退職による後任の補充

【令和元年度】

○教育効果を考慮し、専任教員および兼任講師を追加

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **履可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
19 名	10 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
22	5	1	0	28	31	4	3	0	38
(25)	(5)	(1)	(0)	(31)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
31	4	3	0	38	31	4	5	0	38
[6]	[△1]	[2]	[0]	[7]	[6]	[△1]	[2]	[0]	[7]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{38}{28} = \boxed{135.71} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{1}{38} = \boxed{2.63} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
		該当無し							
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当無し							
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	本橋 健司	選択	仕上げ材料	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)				
			選択	構造材料	①					
			選択	材料力学・演習	②					
2	教授	ホートン広瀬恵美子	選択	PresentationI	①	H31.3.31付け65歳で定年退職 (元)				
			選択	PresentationII	①					
			選択	Writing	①					
			選択	Listening and Speaking	①					
			選択	Reading and Writing	①					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	7	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	7	科目	計	1	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

定年による退職であり、学部設置構想の段階で把握している。これらを踏まえ、あらかじめ教員採用、授業担当を計画しているため、学生の履修等への影響はないと考える。授業担当は、シラバス等に明記し、学生へ周知している。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設 置 時 (29年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	該当なし		履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (31年2月)	該当なし		履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<建築学部 建築学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教授会委員会の一つとして建築学部FD委員会を設置し、既存の他学部が進めてきた先行事例を参考に具体的な取組みについて検討し、その方策を練っている。（建築学部FD委員会規程は別紙のとおり）
 全学組織としては教育イノベーション推進センターが設置されている。本センターは、教育の質保証および教育改善のための取組みについて全学的方針を策定し、新たな教育改革・改善活動を推進している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

建築学部FD委員会は3名の教員で構成され、建築学部長室と連携し活動を行っている。委員の一人が教育イノベーション推進センターのFD・SD推進部門委員であることから、同センターの情報に基づく情報・意見を交換するためのFD委員会を開催した。

年度初めには、FD・SD講演会および優秀教育教員顕彰式が教育イノベーション推進センターおよび学長室の主催で開催され、建築学部からは教員11名が参加した。同センターの「キャリア教育部門」、「FD・SD推進部門」、「グローバル推進部門」、「教育学習支援部門」に建築学部からそれぞれ教員1名の部門員を選出し、全学的な教育改革・改善活動を推進している。また、建築学部全教員が出席する教授会等において、「芝浦工業大学のポジションと大学院教育改革の動向」、「学内の典型事例を通して学ぶー発達障害学生の理解と対応ー」、「カリキュラム評価の意義と方法」と題する講演会が開催された。

c 委員会の審議事項等

他学部が進めてきた先行事例および教育イノベーション推進センターのFD・SD推進部門が保有する情報に基づき建築学部に関連すべき活動の方向性やその具体的な内容について議論し、学部内でFD活動を展開するための戦略を練った。

建築学部は多コース単学科（建築学科）であり、他学部の学科と比較して在籍学生数が多く、専任教員も多数在籍しているため、同一シラバスの専門科目が複数開講されている。そのため、互いに受け持つ授業を履修学生にとってより効果的に展開するための方策について考察し、その情報を共有することとした。まずは効果的な授業がどの様に実施されているかを把握すべく互いに授業を見学し、授業改善の方向性についての理解を深めるという取組方針を確認した。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 新任教員研修会
- ・ 教育・研究業績等評価シート作成
- ・ FD・SD講演会および優秀教育教員顕彰式（全学）
- ・ 授業見学機会の設定

b 実施方法

- ・ 新任教員研修会：教育活動をする上での基礎理解、各種ガイドラインの理解等についての研修会の開催
- ・ 教育・研究業績等評価シート作成：例年5月に、全専任教員は各自の達成目標と活動計画を策定し提出することとしている。また年度末には、達成度と改善点を記入し提出する。
- ・ FD・SD講演会および優秀教育教員顕彰式（全学）：本学の全教員を対象としたFD・SD講演会および優秀教育教員顕彰式（受賞者による講演）の開催
- ・ 授業見学機会の設定：手始めとして、ファカルティデベロッパーの資格を有する教員による授業を見学する機会を設ける。これを起点に教員同士の授業見学を推進することで、より効果的な授業改善が相互的に実施される。

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・新任教員研修会：4月に新任教員を対象に研修会を実施（H30年度建築学部参加3名）。9月および2～3月にフォローアップ研修を実施。
 - ・教育・研究業績等評価シート作成：全専任教員は、5月に目標計画書を作成予定。
 - ・FD・SD講演会および優秀教育教員顕彰式（全学）：3月30日に開催し、建築学部教員11名が参加した。学長による基調講演の他、本学教員を対象とした優秀教育賞の表彰が行われた。優秀教育賞受賞者の中から、建築学部の教員は受賞対象となった取組みについて講演を行った。
 - ・授業見学会の設定：FD委員がファカルティデベロッパーによる授業を見学し、その授業についての分析を行った。
 - ・本学理工学教育共同利用拠点事業の研修プログラム（26件）には、すべての教員（専任・非常勤）が参加可能である。H30年度開催の各種FD研修会（上述以外、講演会含む）には建築学部教員延べ133名が参加した。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・新任教員研修会：H30年度は4月7日の研修に加え、9月6～7日で授業に関連する実践的な側面からの研修（フォローアップ研修会）を実施した。H31年度は4月14日に研修を実施。9月にも昨年同様のフォローアップ研修を予定している。
 - ・教育・研究業績等評価シート作成：例年5月に全専任教員は各自の達成目標と活動計画を策定し提出する。また年度末には、達成度と改善点を記入・提出する。これらは、所属の学部長等から学長に提出する。必要に応じて、学部長から助言等が行われる他、学部長、学長から全体講評が発せられる。本制度により、自己点検を実施する体制が確立しており、教育・研究の質を担保している。
 - ・FD・SD講演会および優秀教育教員顕彰式（全学）：教育賞の受賞者による教育方法についての講演は、参加した多くの本学教員にとって刺激となる好事例であり、授業改善へのよい示唆となったものと思われる。
 - ・授業見学会の設定：建築学部の授業は講義のみならず、製図・設計・実験といった実習系の授業も多く、また履修者数が優に100名を超える大人数科目と10数名程度の少人数科目でも授業の効果的実施方法は大きく異なる。そのため、授業見学が担当授業の改善に即結びつく訳ではないが、授業見学の経験蓄積は担当授業に適した授業改善に寄与することが期待されるため、今後、順次拡大して行く予定である。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - 前期／後期修了時に当該科目の履修者を対象に実施
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - 授業アンケートの結果は、担当教員にフィードバックされるとともに、学内者のみが閲覧できるシラバス検索システムで教職員、学生が確認することができる。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

- ① 体制
 - a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
 - 該当無し
 - b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
 - 該当無し
 - c 委員会の審議事項等
 - 該当無し
 - d その他
 - 該当無し
- ② 審議状況
 - a 審議した内容
 - 該当無し
 - b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
 - 該当無し
 - c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
 - 該当無し

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では、学校法人芝浦工業大学評価委員会規程に基づき、点検・評価を実施している。本学では、毎年、大学、各学部・研究科毎に自己点検・評価報告書を作成している。建築学部は、開設した2017年度より毎年自己点検評価を行っている。設置の趣旨・目的の達成状況については、自己点検・評価報告書で自ら検証している。外部評価委員会からは、建築学部は履行計画に基づき順調に学部運営が行なわれ、志願者も多く集めていることが評価されている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和元年5月末 公表予定

b 公表方法

大学WEB上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

平成30年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受審の結果、大学基準に適合していると認定された。

認証期間：2019（平成31）年4月1日～2026（平成38）年3月31日まで

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （2019年 7月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。